



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2026年2月9日

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
コード番号 5726 URL <https://www.osaka-ti.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川福 純司

問合せ先責任者 (役職名) 理事経営企画部長 (氏名) 所 聡

TEL 06-6413-3310

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	37,308	8.8	5,180	39.2	5,694	28.4	3,400	38.3
2025年3月期第3四半期	40,910	1.0	8,524	33.8	7,951	18.7	5,508	2.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	92.40	
2025年3月期第3四半期	149.68	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	107,972	45,134	41.8
2025年3月期	100,925	42,838	42.4

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 45,134百万円 2025年3月期 42,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		25.00		25.00	50.00
2026年3月期		5.00			
2026年3月期(予想)				10.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	11.4	4,800	52.4	5,100	43.8	2,200	69.0	59.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	36,800,000 株	2025年3月期	36,800,000 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,559 株	2025年3月期	1,519 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	36,798,463 株	2025年3月期3Q	36,798,481 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(四半期貸借対照表に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、円安や株高による資産効果やインバウンド需要の堅調な推移を背景に、緩やかな景気回復基調を維持しました。一方で、物価上昇に伴うインフレ影響や為替変動リスクが引き続き懸念されております。また、海外経済では全体的に緩やかな景気回復傾向が見られるものの、中国経済の不動産市場に起因する内需低迷や景気減速が継続しており、加えてウクライナおよび中東情勢に伴う地政学的リスク長期化、米国の関税政策の影響等、世界経済の先行きに対する不透明感が依然として強まっています。

当社が直面する事業環境において、チタン事業では、航空機需要の回復基調や世界的なチタンのサプライチェーン再編が進む中、スポンジチタンの需要は堅調に推移しております。しかしながら、足元では昨年の航空機製造の主要メーカーであるボーイング社における品質問題やストライキによる一時的な影響に加えて、ボーイング社、エアバス社を中心とした民間航空機サプライチェーン内における在庫調整影響が新たに顕在化し、スポンジチタン需要は一時的に低迷しております。

また、高機能材料事業におきましては、半導体市場及び電子材料市場の調整局面が継続しております。

こうした中、当第3四半期累計期間の売上高は、37,308百万円（前年同期比8.8%減）、営業利益は5,180百万円（前年同期比39.2%減）、経常利益は5,694百万円（前年同期比28.4%減）、四半期純利益は3,400百万円（前年同期比38.3%減）となりました。

事業別は以下のとおりとなります。

チタン事業

当第3四半期累計期間におけるチタン事業の売上高は、運航機数増加に伴うエンジンのMRO（メンテナンス・リペア・オーバーホール）需要が堅調に推移したものの、昨年発生したボーイング社における品質問題やストライキの影響による一時的な需要減少の影響や民間航空機サプライチェーン内での在庫調整が新たに顕在化した事により、輸出向けの売上高は前年同期比8.6%増に止まりました。また、国内向け売上高は、一般産業用を中心とした需要の低迷や、取引先および最終需要家での在庫調整の継続に因り、大幅な減少（前年同期比60.4%減）となりました。この結果、チタン事業の売上高は32,369百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

損益面では、主原料であるチタン鉱石価格低下の効果があったものの、国内向け販売量の減少に伴う減産、インフレによるコスト増加の影響等により、営業利益は4,116百万円（前年同期比46.5%減）となりました。

高機能材料事業

当第3四半期累計期間における高機能材料事業の売上高は、前年同期には半導体関連のスパッタリングターゲット用高純度チタンの販売量において一部取引先によるスポット受注増加の効果が含まれていたことから、4,938百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

損益面では、同製品の販売量が減少したものの、他の製品の構成改善効果等により、営業利益は1,064百万円（前年同期比28.3%増）となりました。

(参考)

事業別売上高

(単位：百万円)

		当第3四半期累計期間	前年同期	増減率(%)
チタン事業	国 内	3,710	9,380	△60.4
	輸 出	28,659	26,384	8.6
	計	32,369	35,764	△9.5
高機能材料事業		4,938	5,145	△4.0
合 計		37,308	40,910	△8.8

事業別営業利益

(単位：百万円)

		当第3四半期累計期間	前年同期	増減率(%)
チタン事業		4,116	7,695	△46.5
高機能材料事業		1,064	829	28.3
合 計		5,180	8,524	△39.2

なお、当事業年度の第1四半期累計期間より、報告セグメントの変更等を行っております。詳細は、「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりです。上記の前年同期比較については、変更後の区分に組み替えた数値としております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第3四半期会計期間末の総資産の残高は、107,972百万円と前事業年度末と比べ7,047百万円増加いたしました。これは、売掛金及び有形固定資産が増加したことや、現金及び預金が減少したことが主な要因であります。

②負債

当第3四半期会計期間末の負債の残高は、62,838百万円と前事業年度末と比べ4,750百万円増加いたしました。これは、借入金及び未払法人税等が増加したことが主な要因であります。

③純資産

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は、45,134百万円と前事業年度末と比べ2,296百万円増加いたしました。これは、四半期純利益により利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年11月10日公表の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2026年2月9日）公表いたしました「2026年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

①2026年3月期 通期（2025年4月1日～2026年3月31日）

(単位:百万円)

セグメント		前回報告 (A)	今回修正 (B)	増減額 (B-A)
売上高	チタン事業	42,200	39,600	△2,600
	高機能材料事業	6,800	6,400	△400
	合 計	49,000	46,000	△3,000
営業利益	チタン事業	4,000	3,800	△200
	高機能材料事業	1,000	1,000	—
	合 計	5,000	4,800	△200

②修正理由

通期業績予想において、最近の為替状況を踏まえて2025年度第4四半期の想定レートを1US\$=145円から150円へ見直しております。

売上高については、上記為替影響があるものの、ボーイング社、エアバス社を始めとした民間航空機サプライチェーン内での在庫調整等の一時的な影響が見込まれるため、前回公表値に対して減収となる見込みです。

営業利益は上記影響等により減少するものの、経常利益は為替レート見直しの影響により増加、当期純利益につきましては、前回公表値通りと見込んでおります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,619	3,095
売掛金	22,596	26,832
商品及び製品	17,159	18,530
仕掛品	3,497	3,601
原材料及び貯蔵品	13,791	13,971
その他	219	290
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	61,880	66,318
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,236	8,332
機械及び装置（純額）	8,710	10,879
土地	14,823	14,823
建設仮勘定	2,913	2,549
その他（純額）	568	1,218
有形固定資産合計	35,252	37,803
無形固定資産	744	805
投資その他の資産	3,048	3,045
固定資産合計	39,045	41,654
資産合計	100,925	107,972

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,561	5,528
短期借入金	17,200	18,900
未払金	285	154
未払法人税等	419	1,115
未払消費税等	384	413
設備関係未払金	3,389	1,719
賞与引当金	438	109
その他	320	958
流動負債合計	27,999	28,899
固定負債		
長期借入金	26,500	30,200
資産除去債務	1,567	1,587
退職給付引当金	2,020	2,151
固定負債合計	30,087	33,938
負債合計	58,087	62,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	25,166	27,462
自己株式	△10	△10
株主資本合計	42,838	45,134
純資産合計	42,838	45,134
負債純資産合計	100,925	107,972

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	40,910	37,308
売上原価	27,855	27,716
売上総利益	13,054	9,591
販売費及び一般管理費	4,530	4,410
営業利益	8,524	5,180
営業外収益		
受取利息及び配当金	48	29
為替差益	-	441
不用品売却益	290	191
受取賃貸料	35	41
補助金収入	-	43
その他	5	31
営業外収益合計	379	779
営業外費用		
支払利息	205	230
為替差損	714	-
割増退職金	28	-
その他	3	35
営業外費用合計	952	266
経常利益	7,951	5,694
特別損失		
固定資産除却損	357	789
特別損失合計	357	789
税引前四半期純利益	7,594	4,904
法人税等	2,086	1,504
四半期純利益	5,508	3,400

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

四半期財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

年間の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	チタン事業	高機能材料事業	
売上高			
外部顧客への売上高	35,764	5,145	40,910
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	35,764	5,145	40,910
セグメント利益	7,695	829	8,524

(注) セグメント利益の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差異は生じておりません。

当第3四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	チタン事業	高機能材料事業	
売上高			
外部顧客への売上高	32,369	4,938	37,308
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	32,369	4,938	37,308
セグメント利益	4,116	1,064	5,180

(注) セグメント利益の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差異は生じておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、従来「チタン事業」セグメントに含めておりました主要製品「四塩化チタン」及び「四塩化チタン水溶液」は、需要業界を踏まえた組み替えで事業効率を高めることを目的に、当事業年度の第1四半期累計期間より「高機能材料事業」セグメントに含めております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,219百万円	2,246百万円

(四半期貸借対照表に関する注記)

偶発債務

従業員の住宅資金借入債務に係る連帯保証債務

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
	10百万円	8百万円